

Witnessの取付方法

ドライブレコーダーWitnessを取り付けて頂く方へ

取付手順

1. 吸盤をフロントガラスへ取り付ける



2. 電源ケーブルを接続する



3. 動作を確認する



4. 本体を取り付ける

取付方法

1. 吸盤をフロントガラスへ取り付ける

- ① 取り付ける前に次の点に注意して取り付け位置を確認して下さい。

- (ア) 運転者の視界の妨げにならないか？
- (イ) CFカードの抜き差しは行えるか？
- (ウ) 本体が水平に取り付けられるか？



図1. 本体の取付位置

- ② 吸盤を本体から取り外し、吸盤をフロントガラスへ取り付けて下さい。

- (ア) 取り付け位置のフロントガラス表面に油や汚れが無いようにして下さい。
- (イ) 向きを間違えないようフロントガラスに取り付けて下さい。
- (ウ) 吸盤の穴が真下を向くように、取り付けて下さい。
- (エ) 専用吸盤が外れたときは、お手数ではございますが、研究所まで連絡下さい。

2. 電源ケーブルを接続する

- ① 図2を参考に配線して下さい。

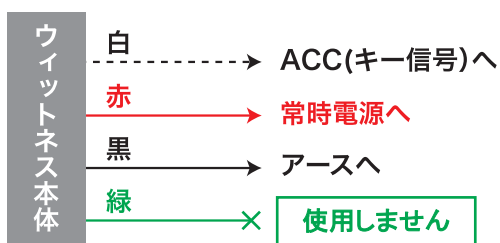


図2. ケーブルの配線

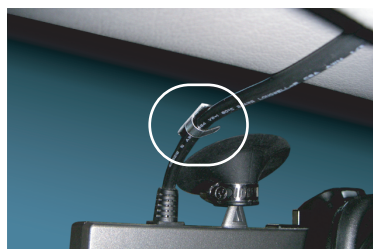


図3. ケーブルの固定

- (ア) 緑色の線は配線しません。
(緑色の線は車速パルス信号線です。配線しなくても本体は問題無く動作します。車速パルスの配線を行っても、シンプルビューワで速度の確認は出来ません。)
- (イ) Witnessは12V専用です。24V電源の車両へは取り付けできません。
- (ウ) アース線とバッテリー電源線を逆に配線しないで下さい。
- (エ) 配線を間違えると本体の故障の原因となります。
- (オ) 電源ケーブルが視界の障害とならないように取り回して下さい。
- (カ) CFカードの故障を防ぐため、配線時はCFカードを抜いておいて下さい。

- ② 本体の落下を防ぐため、同梱の留具でケーブルをしっかりと固定して下さい。
(図3参照)

3. 動作を確認する

- ① 配線作業終了後、CFカードを挿入し、イグニッションキーをONして下さい。
Witnessが起動します。

注：CFカードの表裏をよく確認し、挿入して下さい。挿入時に違和感があった場合は無理に挿入しないで下さい。

- ② キーをONして数秒後、本体から「ピッ！」と音が鳴ります。正常起動確認が鳴ります。

(ア) 他にBEEP音を発する機器を搭載されている場合、起動確認音を確認することが困難な場合がありますので、ご注意ください。

(イ) 本体に異常がある場合、「ピーー」と警告音が1分間鳴り続けます。異常の原因は次のものが考えられます。異常原因を確認後、再度キーをONして下さい。

- i CFカードが差し込まれていない。
- ii CFカードの挿入が不十分。
- iii CFカードに異常がある。

(ウ) 起動音も異常音も無い場合は、配線が間違っている可能性があります。配線を確認してください。

(エ) 起動確認音がなった後、画像取得音「ピピッ」がなった場合は、その後1分間はCFカードを抜かないで下さい。CFカードへデータを書き込んでいる可能性があります。

- ③ 作確認後、イグニッションキーをOFFにして本体の電源を切って下さい。

注：CFカードの抜き差しは、イグニッションキーがOFFの状態で行ってください。

4. 本体を取り付ける

- ① 本体を吸盤の奥まで差し込んで下さい。

- ② 吸盤のバンドを閉め込んで本体を固定して下さい。

(ア) 本体が車両前方を向きように取り付けて下さい。(取得される画像について、目視で本体が前方を向いていることを確認して頂ければ、問題ございません。)

(イ) 本体が水平となるように取り付けて下さい。傾いていると誤作動の原因となります。

吸盤の取付方法

1. 吸盤の取り付け位置の確

本体に吸盤が取り付けられた状態の本体で取り付け位置の確認を行います。次の点に注意し、取り付け位置を確定します。

- ・ ルームミラーに触れないか
- ・ CF(コンパクトフラッシュ)の抜き差しはできるか
- ・ 運転手の視界の妨げにならないか

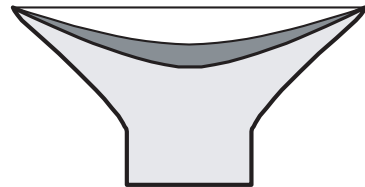


2. 吸盤にシリコンを塗る

Witness 本体から吸盤を取り外し、吸盤の貼付け面全面に当社指定の充填剤を塗ります。図のように中心部の充填剤が多くなるよう塗布してください。

※フロントガラスへの吸盤貼付けには必ず当社指定の充填剤「セメダイン(株)シリコーンシーラント セメダイン8060(ブラック)」を使用して下さい。

中心部の充填剤が多くなるように充填剤を塗布します



3. 吸盤の取り付け

吸盤を所定の位置に押し付けて取り付けます。吸盤の中心部に空気が入らないよう十分に押し付けて下さい。充填剤がはみ出した場合はふき取って下さい。1時間程度で貼付けは完了しますが、Witness 本体の取り付けは半日～1日以上おいてから行って下さい。

中心部に空気が入らないように十分に押し付けて下さい。

